

大阪ハムレット (2008)

メディア 映画
ジャンル コメディ ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 2009/01/17
公開情報 アートポート

【キャッチコピー】
生きるべきか死ぬべきかって、
生きとったらそれでええやん。

【解説】
『少年アシベ』の森下裕美の同名コミックを映画化した笑いと涙の人情喜劇。バイタリティ溢れる大阪の下町を舞台に、悩み多き三兄弟と肝っ玉母さん、そして亡き父に代わり突然同居し始めた叔父さんが織りなす人生模様をユーモアとペーススいっぱいに綴る。主演は松坂慶子、共演に岸部一徳。監督は「おぎゃあ。」「富江 r e p l a y」の光石富士朗。
ある日突然父親が亡くなってしまった久保家。ほどなく、その父の弟だという叔父さんが入れ替わるように同居し始めた。なぜかそれをすんなりと受け入れる母親。一方、戸惑いを隠せない三人の子どもたち。しかし、彼らは彼らでそれぞれに悩みを抱えていた。まだ中3にもかかわらず異常に老け顔の長男・政司は、ひよんな偶然から年上好きの大学生・由加と恋仲となり、年齢を隠して付き合い始める。一方、ヤンキーの次男・行雄は、担任教師から“君はハムレットみたいやな”と言われたのをきっかけに『ハムレット』を読み始め次第にアイデンティティの危機を迎える。そして、小学生の三男・宏基は、教室で“真剣に女の子になりたいんです”と宣言してしまうが…。

【クレジット】

監督	光石富士朗
製作	松下順一
企画	加藤東司
エグゼクティブプロデューサー	堀田学 小田成輝 越智やすし 諸角裕
プロデューサー	伊藤秀裕 Hidehiro Ito 旭正嗣
アソシエイトプロデューサー	喜多隆 長谷川誠 嶋浦屋宏 中野正史
原作	森下裕美
脚本	伊藤秀裕 Hidehiro Ito 江良至

『大阪ハムレット』
(双葉社『漫画アクション』連載)

撮影	猪本雅三	
美術	大庭勇人	
編集	菊池純一	
音響効果	渋谷圭介	
音楽	遠藤浩二	
主題歌	倉木麻衣	『会いたくて...』
照明	松隈信一	
録音	福田伸	
助監督	水内宏征	
出演	松坂慶子	久保房子
	岸部一徳	久保孝則
	森田直幸	久保行雄
	久野雅弘	久保政司
	大塚智哉	久保宏基
	加藤夏希	明石由加
	白川和子	ヤエ
	本上まなみ	亜紀
	間寛平	久保ヒサノリ